

国交労組

より多くのなかまを職場で迎えよう

2022年2月5日号
第229号
毎月2回5日・20日発行

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 国土交通労働組合
電話(03)3580-4244 F A X (03)3593-0359
URL: https://kokkoroso.or.jp/
発行者: 山崎 正人
1部20円(組合員の購読料は組合費に含む)



2022年2月5日 国交労組 第229号(通巻1385号) 昭和37年12月3日 第三種郵便物認可

労働組合のすばらしさを伝えよう

やくしん

初任給は過去から大幅改善
その一方で、大きな課題も

国家公務員の給与は、人事院勧告の影響が大きく、その後国会において給与法が改正されます。今回は初任給の改善について、とりくみと成果をご紹介します。

北陸建設支部では、賃金アンケートに取り組みなどして賃上げの要求をとりまとめで、年4回の局長交渉にて労使間で議論し、局長が本省へ給与改善を申し上げます。

初任給改善の成果(高卒初任給の場合)		労働組合の取り組みにより	
現在(2021年)	150,600円	初任給は10年前から約7%	
5年前(2016年)	142,100円	5年前からは約6%上がっています	
10年前(2011年)	140,100円		

一方で大きな課題もあり、初任給を時給換算した8%、9円は、全国では最低賃金を下回る地域もあります。北陸でも最低賃金は新潟859円、富山877円、石川861円であり、初任給は最低賃金レベルとなっています。組合は給与の大幅改善に向けて、今後も取り組んでいきます。

労働組合のとりくみを広げ組織拡大へ

北陸建設支部は、若手職員の組合加入を強力に促進することを目的として、今年度から支部に「プロモーション部」を新設し、PR強化にとりくんでいます。

プロモーション部のとりくみとして、新規採用職員むけに月一回のメールニュースを発行し、これまでに労働組合が勝ちとった成果(初任給が大幅改善になったこと)や人事異動にむけた労働組合の運動について説明した記事を、未加入者を含めた新規採用職員のみなさんに送付するなどのとりくみをしています。あわせて、10月と12月には組織拡大連日期間と題して、集中的に組織拡大行動を行いました。さらに、新規採用職員を「プレ組合員」として迎え、組合活動に結集してもらい、加入に結びつけるとりくみもしています。

様々なとりくみの結果、新規採用職員や定員外職員、再任用職員を含めた加入が広がり、定期大会以降「純増」を実現しています。今後も引き続き、労働組合のすばらしさを職場に広めるとりくみを行っていきたいと思います。

労働組合の魅力伝えよう

「組織拡大3か年計画」の方針がスタートして5か月が経とうとしています。今号では、とりくみの一部を紹介いたします。ぜひ、参考にしながら全国の各支部・分会で、組合の魅力を伝え、一人ひとりが意識を高めながら、自分たちにできることから始めていきましょう。

東北気象支部は、「まずは組合活動を知ってもらうことが重要」として、2017年9月から長期間休刊となっていた「東北支部ニュース」の復活を決めました。発行までに3か月程かかりましたが、新たに発行した318号は、5年ぶりとは思えない良い出来栄となりました。

また、東京気象支部がある気象庁は、虎の門庁舎に移転しましたが、大手町庁舎にあった掲示板が設置されておらず、現在、支部をあげて要求しているところです。

コロナ禍により人と人とのつながりが希薄となるなかで、「組合活動をどう伝えていくか」を考えたとき、単にニュースを発行するだけではなく、掲示板に掲げてこそ威力を発揮します。一人でも多くのなかまを迎えられるよう、継続的な発行を執行部全員でとりくんでいきます。

機関紙の力で組織拡大強化を



東北気象支部ニュースを熱心に読む職員

着実に組織拡大へ

航空保安大学校(本校)の研修生が赴任先の分会・支部にて組合加入がスムーズに行えるよう、本部から3か年計画の一環として、研修生を対象とした組合説明会の実施や、部門発行誌『航空ふぉーらむ』の校内への設置を提起しました。

現地の保安大分会及び西日本航空支部の協力のもと、バックナンバーを含め2年分の『航空ふぉーらむ』を図書室及び各教室へ配置することが実現しました。また、組合掲示板を要望したところ、研修生が毎日行き来する校舎ロビーに設置されました。

研修生にとっても組合機関紙や部門ニュースなどがより身近になることでしょう。加えて、4月に現場赴任をする研修生を対象とした組合説明会を3月に実施予定です。コロナ禍のため実施形態は検討中ですが、国土交通労組のとりくみを身近に感じてもらう、その必要性を理解してもらうことが重要と考えています。



部門発行誌などがより身近に

役員の特技を活かして



独自パンフで組織拡大へ

自動車技術総合機構の設立経緯、職場で発生した事案の説明と労働組合の対応、また、日々の組合のとりくみ、組合費と組合員だけの経済的なメリットなど、支部書記長の自作イラストやマンガを使用し、わかりやすく掲載しています。

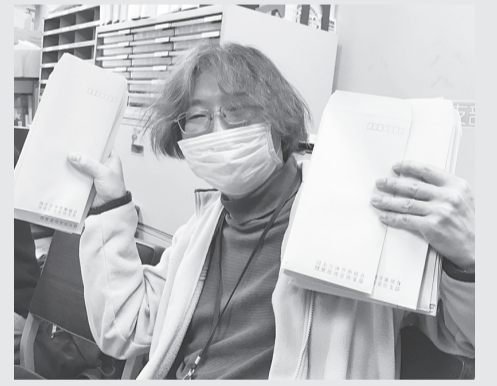
今後、四国運輸支部の各分会に発送し、新規採用者や、未加入者の組織拡大につなげる重要なツールとして活用していく予定です。さらに、他支部でも活用できるよう、印刷データを配布予定しています。

四国運輸支部では、これまで分会の組織拡大の支援として、新規採用者への声かけQ&Aの作成・配布をしてきました。今回、独立行政法人自動車技術総合機構、特に自動車検査業務にたずさわる自動車検査官などの組織拡大のため、独自でパンフレット「よくわかる!自動車技官と組合の関係~あなたを守るのは組合だけ~」を作成しました。

自動車技術総合機構の設立経緯、職場で発生した事案の説明と労働組合の対応、また、日々の組合のとりくみ、組合費と組合員だけの経済的なメリットなど、支部書記長の自作イラストやマンガを使用し、わかりやすく掲載しています。

今後、四国運輸支部の各分会に発送し、新規採用者や、未加入者の組織拡大につなげる重要なツールとして活用していく予定です。さらに、他支部でも活用できるよう、印刷データを配布予定しています。

地道にそして着実に



昨年実施した封筒作戦

関東港湾空港支部では、「労働組合を知ってほしい」「一緒に労働条件を変えていきたい」として、労働組合がとりくんでいることや成果をまとめ封筒に入れて、新規採用者や未加入者に直接配布する封筒作戦を毎年4月ととりくんでいます。昨年は、封筒を渡しながら声をかけたところ、異動で未加入者が再加入につながり、各分会でも新規採用者や船舶乗組員、期間業務職員の加入が広がりました。

年度末業務多忙な時期ですが、支部が計画した3か年計画にもとづき、4月期のとりくみにむけて、ひとりでも多くのなかまを労働組合へ迎え入れる準備をしています。

明日へ

コロナ禍で生活維持に不可欠なエッセンシャルワーカーのうち、ケア労働といわれる医療・介護・福祉・保育・学童・保健所など、要員不足に比べ、激務に見合わない低賃金が問題となり、政府もようやく「ケア労働者の賃金引き上げ」を打ち出した▼特に女性労働者とはダブルの困難が重なっている。今春闘では男女間の雇用・賃金格差を是正するジェンダー平等も大きな焦点だ▼一方、世界の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数では、日本は156か国中、120位と長年にわたり低い状況が続く。経済分野では女性の非正規労働者が多いため平均所得が男性より44%も低いことが指摘されている▼あなたの職場にも格差が存在していないか。自ら、身近ななかまのジェンダー課題や格差を正すため、労働組合の活動に参加し、どうしたら解消できるか考えた行動が社会全体を変える一歩になるだろう。希望の持てる公正な社会の実現のため、コロナ禍だからこそ、力強い春闘のたたかいにしよう(ky)